

第4章 今後へむけて

市民の健康づくりの実行計画である「健康あきた市21」は、平成15年度の計画策定から8年を経過しましたが、この間、9つの重点分野別目標と、具体的に行動すべき手段として97の個別目標を掲げ取り組んできました。最終評価の結果、個別目標のめざすべき数値目標を達成できた項目は全体の32.0%でしたが、何らかの改善があった項目まで加えると69.1%と約7割の項目になるなど、取り組みに一定の成果がみられました。

重点分野別にみると、「糖尿病」、「循環器病」、「がん」、「こころの健康づくり」では、目標を達成できた項目が半数を超えました。何らかの改善がみられた項目まで含めると、「栄養・食生活」、「たばこ」、「歯の健康」を加え、9分野中7分野で半数を超えております。

しかし、「アルコール」については改善がみられず今後の課題となりました。

健康づくりは、市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、健康的な生活を自分で選択し実践できるようになることが基本です。このたび、最終評価で得られた結果を、計画最終年度である平成24年度まで、様々な機会をとらえ市民に周知し、健康の大切さを再認識していただき、健康づくりが市民運動として定着するよう努めてまいります。

今後は、平成25年度からの次期計画を、国の「健康日本21」、秋田県の「健康秋田21計画」の最終評価も参考とし、国が示す次期計画策定の指針に基づき策定してまいります。また、次期計画が地域や民間の企業・団体等の健康づくり関連事業と連携した、本市全体の「健康づくりのマスタープラン」とし、引き続き市民の健康のため取り組んでまいります。